令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート(政策的経費)】

1 日 20		影業												
1	当初	事	項	養護	教諭・栄養教諭	等研修	指導費					予算主	管課	保健体育課
## 1		重	- **	新規	 採用養護教諭・	 栄養教		——— 的な知	 識技能等の研修 ^を		+ ,		——— 期	R1
### Page								- 3.00%				幺 欠1	世R	
Paris 1月									: *k=A			η·< 7		
R P P P P P P P P P								・米登						
100 % 日本田							•	n± = #888					味上 #BBB	
		K	ΡI	吋点・朔回						-		0/0		
本語				現状値	%									
1,516 千円 1,516 千円 1,516 千円 1,516 千円 1,516 千円 1,525 1,516					70									
東京 東京 京都 東京 京都 東京 東京 東京							1,516 千円		千円		=	千円	最終現計予算額	千円
### 2009分析 株括(事業最終年度の場合、要記入。)					スト		909 千円		千円		=	千円	決算額	千円
					評価年度(「達成	率100%	 6未満」の場合、要	記入。)					
### Paragraph	5	2	要因分		総括(事業最終年	度の場合	 今、要記入。)							
計画に沿った基礎研修が実施できており、引き続き教育活動に活用できる専門性の向上を図る研修を実施するこから、6 年度の執行方法や7 年度予算の見直しは想定していない。 野 東														
当初 野	度										•	吉田地の		7.T.W.+ \$2.T.
野面											Cさる!	専門性の	回上を図	る研修を実施すること
						J. 0	一人又《2月7月7日7日7日7日7日7日7日7日7日7日7日7日7日7日7日7日7日7日	· - / /又 J	子の元回のは心定り	0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
数職員の資質向上を図るための研修及び児童生徒の教育活動を支援するため、研 始期 S34 終期 修を実施する。 探別支援学校教職員の教職員研修旅費活用率 R 6 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8		見ī	直し方	前性	維持									
数職員の資質向上を図るための研修及び児童生徒の教育活動を支援するため、研 始期 S34 終期 修を実施する。 探別支援学校教職員の教職員研修旅費活用率 R 6 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8														
数職員の資質向上を図るための研修及び児童生徒の教育活動を支援するため、研 始期 S34 終期 修を実施する。 探別支援学校教職員の教職員研修旅費活用率 R 6 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8														
数職員の資質向上を図るための研修及び児童生徒の教育活動を支援するため、研 始期 S34 終期 修を実施する。 探別支援学校教職員の教職員研修旅費活用率 R 6 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8 年 度 R 8 年 度 R 7 年 度 R 8														
#	当初	事	項	教職	員研修旅費(特	別支援	学校)					予算主	管課	特別支援教育課
特別支援学校教職員の教職員研修旅費活用率 R 5 年 度		事	業	教職	員の資質向上を	図るた		 童生徒	の教育活動を支持	援するため	、研	始	期	S34
R		概	要	修を	実施する。							終.	———— 期	
R				特別	支援学校教職員	 の教職	量研修旅費活用	 率						
R 5 - 3								•	R 6 年 度	R 7	'年度			 R 8 年 度
日標値		.,		時点・期間				時点·期間					時点·期間	
達成率 95.00 % 達成率 39,892 千円 禁題 千円 決算額 千円 決算額 千円 決算額 千円 決算額 千円 大理 大理 大理 大理 大理 大理 大理 大		K	РΙ			目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100 %	%	目標値	100 %
フスト 298 39,892 千円 298 千円 39,892 千円 298 100							OF 0/	宇繕値						100 70
35,892 TP 38				現状値	68.7 %	美績値	95 %	大惧吧	%	実績値	9	%		
決算額 37,764 千円 決算額 千円 評価年度(「達成率100%未満」の場合、要記入。) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、出張を伴う研修や教育活動が活発になり前年度比26%増と大幅に増加したものの、予定していた県外出張の取りやめ等の影響により、未達成となった。 総括(事業最終年度の場合、要記入。)				現状値	68.7 %	達成率	95.00 %	達成率	%	達成率	9,	%	実績値	% %
新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことにより、出張を伴う研修や教育活動が活発になり前年度比26%増と大幅に増加したものの、予定していた県外出張の取りやめ等の影響により、未達成となった。 総括(事業最終年度の場合、要記入。) 見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等)) 5 年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、6 年度以降も新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことにより、教育活動の活発化や、修学旅行や体験学習等も県外を含めた広域での活動を計画しており、KPIに						達成率 最終現計予 算額	95.00 % 39,892 千円	達成率 最終現計予 算額	% 千円	達成率 最終現計予 算額	9,	% 千円	実績値 達成率 最終現計予算額	<mark>%</mark> % 千円
要因分析 要因分析 をものの、予定していた県外出張の取りやめ等の影響により、未達成となった。 総括(事業最終年度の場合、要記入。) 見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等)) 「大きないのでは、では、大幅を表していた県外出張の取りやめ等の影響により、未達成となった。 「「おおおいった。」 「「おおいった」 「「おおいった」」 「「おおいった」 「「おおいった」」 「「おおいった」 「「おおいった」 「「おおいった」」 「「おおいった」 「「おおいった」 「「おおいった」」 「「おおいった」 「「おいった」					スト	達成率 最終現計予 算額 決算額	95.00 % 39,892 千円 37,764 千円	達成率 最終現計予 算額 決算額	% 千円 千円	達成率 最終現計予 算額	9,	% 千円	実績値 達成率 最終現計予算額	<mark>%</mark> % 千円
要因分析 総括(事業最終年度の場合、要記入。)					ス ト 評価年度(「達成	達成率 最終現計予算額 決算額	95.00 % 39,892 千円 37,764 <mark>千円</mark> %未満」の場合、要	達成率 最終現計予算額 決算額 記入。	% 千円 千円	達成率 最終現計予 算額 決算額	9, = =	% 千円 千円	実績値 達成率 ^{最終現計予算額} 決算額	% % 千円 千円
総括(事業最終年度の場合、要記入。) 5 年度					ス ト 評価年度(「達成 新型コロナウイル	達成率 最終現計予 算額 決算額 率100% ス感染物	95.00 % 39,892 千円 37,764 <mark>千円</mark> %未満」の場合、要 症が5類に移行した	達成率 最終現計予 資額 決算額 記入。)	% 千円 <mark>千円</mark> より、出張を伴う研	達成率 最終現計予 算額 決算額 干修や教育活動	9, = =	% 千円 千円	実績値 達成率 ^{最終現計予算額} 決算額	% % 千円 千円
5 年度 見直し方向性 維持 見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等)) 5 年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、6 年度以降も新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことにより、教育活動の活発化や、修学旅行や体験学習等も県外を含めた広域での活動を計画しており、KPIに					ス ト 評価年度(「達成 新型コロナウイル	達成率 最終現計予 算額 決算額 率100% ス感染物	95.00 % 39,892 千円 37,764 <mark>千円</mark> %未満」の場合、要 症が5類に移行した	達成率 最終現計予 資額 決算額 記入。)	% 千円 <mark>千円</mark> より、出張を伴う研	達成率 最終現計予 算額 決算額 干修や教育活動	9, = =	% 千円 千円	実績値 達成率 ^{最終現計予算額} 決算額	% % 千円 千円
年度 見直し方向性 維持 見直し方向性 維持 見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等))		-		分析	ス ト 評価年度(「達成 新型コロナウイル たものの、予定し	達成率 最終現計予 算額 決算額 本100% ス感染物 ていたり	95.00 % 39,892 千円 37,764 <mark>千円</mark> %未満」の場合、要 症が5類に移行した 県外出張の取りやめ	達成率 最終現計予 資額 決算額 記入。)	% 千円 <mark>千円</mark> より、出張を伴う研	達成率 最終現計予 算額 決算額 干修や教育活動	9, = =	% 千円 千円	実績値 達成率 ^{最終現計予算額} 決算額	% % 千円 千円
年度 見直し方向性 維持 見直し方向性 維持 見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等))		12.7		分析	ス ト 評価年度(「達成 新型コロナウイル たものの、予定し	達成率 最終現計予 算額 決算額 本100% ス感染物 ていたり	95.00 % 39,892 千円 37,764 <mark>千円</mark> %未満」の場合、要 症が5類に移行した 県外出張の取りやめ	達成率 最終現計予 資額 決算額 記入。)	% 千円 <mark>千円</mark> より、出張を伴う研	達成率 最終現計予 算額 決算額 干修や教育活動	9, = =	% 千円 千円	実績値 達成率 ^{最終現計予算額} 決算額	% % 千円 千円
5年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、6年度以降も新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、教育活動の活発化や、修学旅行や体験学習等も県外を含めた広域での活動を計画しており、KPIは	г.	147		分析	ス ト 評価年度(「達成 新型コロナウイル たものの、予定し	達成率 最終現計予 算額 決算額 本100% ス感染物 ていたり	95.00 % 39,892 千円 37,764 <mark>千円</mark> %未満」の場合、要 症が5類に移行した 県外出張の取りやめ	達成率 最終現計予 資額 決算額 記入。)	% 千円 <mark>千円</mark> より、出張を伴う研	達成率 最終現計予 算額 決算額 干修や教育活動	9, = =	% 千円 千円	実績値 達成率 ^{最終現計予算額} 決算額	% % 千円 千円
たことにより、教育活動の活発化や、修学旅行や体験学習等も県外を含めた広域での活動を計画しており、KPIは 維持		ויים		分析	ス ト 評価年度(「達成 新型コロナウイル たものの、予定し 総括(事業最終年	達成率 ^{最終現計予} ^{算額} 決算額 不感染物 ていたり 度の場合	95.00 % 39,892 千円 37,764 千円 6未満」の場合、要症が5類に移行した 県外出張の取りやめ	達成率 泉終現まけず 浄算額 記入。 〕 ことに 等の影	% 千円 千円 より、出張を伴う研 響により、未達成と	達成率 最終現ます 資額 決算額 干修や教育活動 こなった。	9, = = 動が活発	% 千円 千円	実績値 達成率 ^{最終現計予算額} 決算額	% % 千円 千円
たことにより、教育活動の活発化や、修学旅行や体験学習等も県外を含めた広域での活動を計画しており、KPIは 維持	年	7.7		分析	ス ト 評価年度(「達成 新型コロナウイル たものの、予定し 総括(事業最終年	達成率 ^{最終現計予} ^{算額} 決算額 不感染物 ていたり 度の場合	95.00 % 39,892 千円 37,764 千円 6未満」の場合、要症が5類に移行した 県外出張の取りやめ	達成率 泉終現まけず 浄算額 記入。 〕 ことに 等の影	% 千円 千円 より、出張を伴う研 響により、未達成と	達成率 最終現ます 資額 決算額 干修や教育活動 こなった。	9, = = 動が活発	% 千円 千円	実績値 達成率 ^{最終現計予算額} 決算額	% % 千円 千円
夏南山方向性	年	7		分析	ス ト 評価年度(「達成 新型コロナウイル たものの、予定し	達成率 最終期許 算額 決算額 不 の 場で で	95.00 % 39,892 千円 37,764 千円 6未満」の場合、要症が5類に移行した 県外出張の取りやめ 合、要記入。)	建成率 決算額 記入 に いき	% 千円 千円 より、出張を伴う研 響により、未達成と	達成率 最終現計予 資額 決算額 一修や教育活動 こなった。	9 = = 動が活発)	が 千円 千円 &になり前	実績値 達成率 緑線明計予算額 決算額 前年度比2	% % 千円 千円 26%増と大幅に増加し
	年	IL.		分析	ス ト 評価年度(「達成 新型コロナウイル たものの、予定し	達成率 最終 算額 率 100% ス ていたり	95.00 % 39,892 千円 37,764 千円 6未満」の場合、要症が5類に移行した 県外出張の取りやめ合、要記入。)	建成率線額記できませます。注意は、対象のでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、と	% 千円 千円 より、出張を伴う研 響により、未達成と 響により、未達成と	達成率 ^{最終現計予} 決算額 決算額 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9 = = 動が活発) &も新型	が 千円 千円 &になり前	実績値 達成率 緑料明子算額 決算額 が年度比2	% % 千円 千円 26%増と大幅に増加し 惑染症が5類に移行し
	年		要因分	が析	ス ト 評価年度(「達成 新型コロナウイル たものの、予定し 総括(事業最終年)	達成率 第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	95.00 % 39,892 千円 37,764 千円 6未満」の場合、要症が5類に移行した果外出張の取りやめ合、要記入。) 「容の説明(維持・原ないの実績はほぼ想きより、教育活動の流	建成率線額記できません。注意を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	## 1	達成率 湿終現計予 演題 決算額 で教育活動 たなった。 事業組替等))、6年度以際 学習等も県外	9 = = 動が活発 かが活発 を含めが	が 千円 千円 とになり とこなり た広域で	実績値 達成率 緑線明計予算額 決算額 か年度比2	% % % 千円 千円 千円 千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	年		要因分	が析	ス ト 評価年度(「達成 新型コロナウイル たものの、予定し 総括(事業最終年)	達成率 第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	95.00 % 39,892 千円 37,764 千円 6未満」の場合、要症が5類に移行した果外出張の取りやめ合、要記入。) 「容の説明(維持・原ないの実績はほぼ想きより、教育活動の流	建成率線額記できません。注意を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	## 1	達成率 湿終現計予 演題 決算額 で教育活動 たなった。 事業組替等))、6年度以際 学習等も県外	9 = = 動が活発 かが活発 を含めが	が 千円 千円 とになり とこなり た広域で	実績値 達成率 緑線明計予算額 決算額 か年度比2	% % % 千円 千円 千円 千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	年		要因分	が析	ス ト 評価年度(「達成 新型コロナウイル たものの、予定し 総括(事業最終年)	達成率 第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	95.00 % 39,892 千円 37,764 千円 6未満」の場合、要症が5類に移行した果外出張の取りやめ合、要記入。) 「容の説明(維持・原ないの実績はほぼ想きより、教育活動の流	建成率線額記できません。注意を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	## 1	達成率 湿終現計予 演題 決算額 で教育活動 たなった。 事業組替等))、6年度以際 学習等も県外	9 = = 動が活発 かが活発 を含めが	が 千円 千円 とになり とこなり た広域で	実績値 達成率 緑線明計予算額 決算額 か年度比2	% % % 千円 千円 千円 千円 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

初	事	項	中堅	教諭等資質向_	:研修費	ł					予算主	E管課	義務教育課	5
	事	業 ²	学校证		的な役害	を果たすことだ	が期待され	 る中堅教諭等に、職	務を遂行	テする上で	始	期	H30	
	概	要!	必要。	とされる資質の向	上を図る	らため、研修を実	実施する。				終	期		
		7	研修	内容を活用して	いる中	型教諭等の害	引合						•	
		k	KPI種別	上がると良い指	票	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 月	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		R 8 年 度	
	ΚP		時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
	IX I	Î			目標値	86.9 <mark>%</mark>	目標個	86.9 <mark>%</mark>	目標値	86.9	%	目標値	86.9	%
		Ŧ	現状値	86.9 %	実績値	80.1 %	実績値	%	実績値		%	実績値		%
					達成率	92.17 %	達成翌	%	達成率		%	達成率		%
				スト	最終現計予 算額	17,452 千日	最終現計 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
				A F	決算額	16,486 干F	円 決算額	千円	決算額		千円	決算額		千円
				研修の効率化が	られる		合型の研修)						
5	要	·因分	析	研修の効率化が	図られる。 受講者:	よう、対面・集 が研修内容を当	合型の研修	<i>.</i> §とオンライン・オン						

4 当初	事	項	幼児	教育の質向上事	業費							予算主	 :管課	義務教育課	₹
	事	業	幼児教	数育推進体制の充実	・活用	、幼保小の円滑な打	接続のた	こめ、総合教	 (育セン	ターにタ	幼児教育ア	始	期	R5	
	概	要	ドバー	イザーを配置し、全	幼児教	育施設の教職員等の	の指導が	けや教育の質	の向上	を図る。	,	終	朝	R7	
			幼児	 教育アドバイザ-	一の研	 修内容を活用し	た施設								
			KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度			R 7 年 B			R 8 年 度	
	V	ΡI	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度		時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
	,	P 1			目標値	30.6 <mark>%</mark>	目標値	40.6	%	目標値	50.6	%	目標値	60.6	%
		現状値		20.6 %	実績値	22.2 <mark>%</mark>	実績値		%	実績値		%	実績値		%
					達成率	72.55 %	達成率		%	達成率		%	達成率		%
				7 1	最終現計予 算額	1,304 千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
				スト	決算額	540 千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額		千円
5 年	7	要因分	計	初年度であり事業の 総括(事業最終年原	の実施に	,	されて	いなかった	こめ、目	!標達成	には至らな		望かあっ	かたものの、2	下事業の
度	見ī	直した	5向性	5 幼	年度の 児教育	容の説明(維持・原 目標達成率が想定。 施設ヘリーフレット なげる。	とりも値	低調であった	ため、	6年度	D執行から、				

当初	事 項	幼稚	園新規採用教員	研修費						予算	È管課	義務教育課	
	事業	幼稚	園の新任教員を	対象に	、実践的指導力	と使命	感を養うととも	に、幅	広い知見	始	·期	H4	
	概要	を取	得させるため、	研修を	実施する。					終	期		
		研修	内容を活用して	いる幼	稚園新規採用教	員の割	合						
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 B			R 8 年 度	
	K P I	時点・期間・	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
				目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100	%	目標値	100 %	6
		現状値	92.6 %	実績値	81.8 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値		%	実績値	9/	6
				達成率	81.80 %	達成率	%	達成率		%	達成率	9/	6
			スト	最終現計予 算額	1,253 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	Ŧ	千円
			X 1.	決算額	761 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	Ŧ	f円
5 年	要因		た。 総括(事業最終年)	度の場合	合、要記入。)								
度	見直し	方向性	5 た 維持	年度の 、受講 ことによ	目標達成率は、想象 者の経験やニーズ(定よりも こ差があ	z善・大幅見直し(5低調であったもの 5ることを踏まえ、5 標達成すると考えら	の、81 現行のA	%を超えては 研修方法や回	回数を維持	しながら	研修内容の充実	を図る

6 当初	事	耳	教	員	の資質向上推進	事業費								予算主	管課	義務教育課	Į
	事	事業	指	導:	力不足等教員の	認定及	び当該教	員の研	修後の	処遇等に	つき専	門的、	多角的な	始	期	H15	
	根	死 要	見	地	から審査を行う	ととも	に、当該	教員の	研修を	行う。				終	朝		
			指	導	力不足等教員の	認定を	解除した	教員の	割合								
			KP:	[種別	上がると良い指標	票	R 5 年 周	支		R 6 年 度	Ī		R 7 年 月	度		R 8 年 度	
	k	Р	時点 T	・期間	R4年度	時点·期間	R 5年度		時点·期間	R6年度		時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
		•				目標値	100	%	目標値	100	%	目標値	100	%	目標値	100	%
			現	伏値	100 %	実績値	100	%	実績値		%	実績値		%	実績値		%
						達成率	100.00	%	達成率		%	達成率		%	達成率		%
			•	_	スト	最終現計予 算額	441	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
					~ 1	決算額	158	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額		千円
5 年度		要区	分析	H	総括(事業最終年	悪度の場合	容の説明(維持・原	廃止・改	7善・大幅月				ることから	、引き続	き、現状維持	:に努めた
	見	l直し	方向]性	維持	, \ ,											

7	当初	事	項	教職	員研修旅費(中	学校)							予算主	管課	義務教育課	Į
		事	業	教職	員の資質向上を[図るた	めの研修	及び児	童生徒	の教育活動を支	援する	ため、研	始	期	S34	
		概	要	修を	実施する。								終	期		
				中学	校教職員の教職	員研修	旅費活用	率								
				KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 月			R 6 年 度		R 7 年 5			R 8 年 度	
		V 5	. т	時点・期間	R4年度	時点·期間			時点·期間		時点·期間	T .		時点·期間	R8年度	
		K F	′ 1			目標値	95	%	目標値	95 <mark>%</mark>	目標値	95	%	目標値	95	%
				現状値	87 %	実績値	97	%	実績値	%	実績値		%	実績値		%
						達成率	102.11	%	達成率	%	達成率		%	達成率		%
				コ	スト	最終現計予 算額	135,285	千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
				_		決算額	131,441	千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額		千円
	5 年	要	因分		総括(事業最終年月				÷. 1. 31		** **********************************					
	度	見直	「した	5向性	令					マ善・大幅見直し(まを通じて研修旅費			ろめ、更な	る有効活	用を図ること	といたし
٦	当初	当初 事 項 教職員研修旅費(小学校)										マケン	- 	主教教芸師	1	
g		尹											予算主		義務教育課	
		事			員の資質向上を	図るた	めの研修	及び児	童生徒	の教育活動を支	援する	ため、研	始	期	S34	
		概	要	修を	実施する。								終	期		

8 当初	事	項	教職	員研修旅費(小学	学校)						予算主	三管課	義務教育課
	事	業	教職	員の資質向上を関	図るた	めの研修及び	児童生徒	の教育活動を支	援する	ため、研	始	期	S34
	概	要	修を	実施する。							終	期	
			小学	校教職員の教職員	員研修	旅費活用率							
			KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 🛭			R 8 年 度
	k	ΡI	時点・期間	R4年度	時点·期間	R 5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R 7年度		時点·期間	R8年度
		' '			目標値	95 <mark>%</mark>	目標値	95 %	目標値	95	%	目標値	95 <mark>%</mark>
			現状値	67 %	実績値	92 %	実績値	%	実績値		%	実績値	%
					達成率	96.84 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
				7 6	最終現計予 算額	168,841 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
				スト	決算額	156,002 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5 年	1	要因分	分析	新型コロナの影響が総括(事業最終年度	度の場合	3、要記入。)					たものと	考えられる	5.
見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等)) 令和6年度以降は、各教育事務所等を通じて研修旅費のニーズの把握に努め、更なる有効活用を図るこ たい。											用を図ることといたし		

当初	事项	貝 新力	見採用教員研修費							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	主管課 	義務教育課
	事業	≰ 小・	中・県立学校の	全新規	!採用教員を対象	に、実	践的指導力と使	命感を	養うとと	始	期	S62
	概要	きもに	、幅広い知見を	取得さ	せるため、研修	を実施	する。			終	期	
		研修		いる新	 f規採用教員の割	合						
		KPI種別	上がると良い指標	į	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 月	芰		R 8 年 度
	K P	時点·期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度
				目標値		目標値	84.5 %	目標値	84.5		目標値	84.5 %
		現状値	83.5 %	実績値		実績値		実績値		%	実績値	%
				達成率		達成率	% ************************************	達成率		% I	達成率	% T.I.
		=	1 ス ト	算額	31,003 ⊤□	算額	千円	算額		千円	最終現計予算額	111
				決算額 変1000	13,698 <mark>千円</mark> 6未満」の場合、要	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
					の不満」の場合、安 よう、対面・集合型	•		ッデマン	,ド研修を組	み合わせ	スかど、3	実施方法の最適化に
	要因	日分析	めているものの、	受講者	が研修内容を当該年	三度内に	活用しているとは肌	艮らない	可能性があ	り、目標	達成には	至らなかった。
5 年			総括(事業最終年	度の場合	合、要記入。)							
度	目直 (,方向性	5 0 r	年度の 経験や	容の説明(維持・) 目標達成率は、想 ニーズに差がある。 度以降にKPIは目標	定よりも ことを踏	低調であったもの 皆まえ、現行の研修	の、979 方法や[%を超えても 回数を維持し	んながら研	T修内容の	充実を図ることに
	7600											
当初		教耶	战員研修旅費(高		等教育学校)					予算:	主管課	高校教育課
当初	事項事業	教職		校・中		 童生徒	の教育活動を支	援する	ため、研	始	主管課 期	高校教育課 S34
当初	事項事業	養 教職	銭員研修旅費(高 戦員の資質向上を	校・中 図るた	めの研修及び児			 援する	ため、研	始	期	
当初	事項事業	養 教職	は員研修旅費(高 戦員の資質向上を 実施する。 Z高等学校及び県	校・中 図るた 立中等	めの研修及び児			 援する 	ため、研 R 7 年 I	始終	期	
当初	事類概	業 教職 要 修 を 県立 KPI種別	は員研修旅費(高 戦員の資質向上を 実施する。 Z高等学校及び県 上がると良い指標	校・中 図るた 立中等	かの研修及び児 教育学校の教職	員研修	旅費活用率			始終	期	S34
当初	事項事業	業 教職 要 修 を 県立 KPI種別	戦員研修旅費(高 戦員の資質向上を 実施する。 Z高等学校及び県 上がると良い指標	校・中 図るた 立中等	がの研修及び児 教育学校の教職 R 5 年 度 R5年度	員研修	旅費活用率 R 6 年 度 R6年度		R 7 年 E R7年度	始終	期	S34 R 8 年 度
当初	事類概	業 教職 要 修 を 県立 KPI種別	は員研修旅費(高 戦員の資質向上を 実施する。 Z高等学校及び県 上がると良い指標 R4年度	校・中 図るた 立中等	数 育学校の教職 R 5 年 度 R5年度 100 % 100 %	員研修 時点·期間 目標値 実績値	旅費活用率 R 6 年 度 R6年度 100 % %	時点·期間 目標値 実績値	R 7 年 E R7年度	始 終 を %	期 明 時点·期間 目標値 実績値	R 8 年 度 R8年度 100 % %
当初	事類概	教職 修名 県立 KPI種別 時点・期間	裁員研修旅費(高 裁員の資質向上を 実施する。 Z高等学校及び県 上がると良い指標 R4年度	校・中 図 立中等	数 育学校の教職 R 5 年 度 R5年度 100 % 100.00 %	員研修 時点·期間 目標値 実績値 達成率	旅費活用率 R 6 年 度 R6年度 100 % %	時点·期間 目標値 実績値 達成率	R 7 年 E R7年度	始 終 % %	期 期 時点·期間 目標値	R 8 年 度 R8年度 100 % %
当初	事類概	養 教職 修 を	裁員研修旅費(高 裁員の資質向上を 実施する。 Z高等学校及び県 上がると良い指標 R4年度	校・中 図 立中等	数 育学校の教職 R 5 年 度 R5年度 100 % 100 % 100.00 % 182,195 千円	身研修 時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現制予 算額	旅費活用率 R 6 年 度 R6年度 100 % % % ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予 算額	R 7 年 E R7年度	始 終 % % %	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R 8 年 度 R8年度 100 % % %
当初	事類概	養 教職 修 を	は員研修旅費(高 戦員の資質向上を 実施する。 Z高等学校及び県 上がると良い指標 R4年度 88.8 %	校・中図立中等ははは <t< td=""><td>数育学校の教職 R 5 年 度 R5年度 100 % 100.00 % 182,195 千円 181,831 千円</td><td>身研修 時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現制予 第額 決算額</td><td>旅費活用率 R 6 年 度 R6年度 100 % % % 千円 千円</td><td>時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予</td><td>R 7 年 E R7年度</td><td>始 終 % %</td><td>期 時点·期間 目標値 実績値 達成率</td><td>R 8 年 度 R8年度 100 % % %</td></t<>	数 育学校の教職 R 5 年 度 R5年度 100 % 100.00 % 182,195 千円 181,831 千円	身研修 時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現制予 第額 決算額	旅費活用率 R 6 年 度 R6年度 100 % % % 千円 千円	時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	R 7 年 E R7年度	始 終 % %	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R 8 年 度 R8年度 100 % % %
当初	事 事 概 K P	養 教職 修 を	は員研修旅費(高 戦員の資質向上を 実施する。 Z高等学校及び県 上がると良い指標 R4年度 88.8 %	校・中 文中 時 目 実 達 最終 算 第 第 第 1009	*教育学校の教職R 5 年 度R5年度 100 % 100.00 % 182,195 千円 181,831 千円 6未満」の場合、要	身研修 時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現制予 第額 決算額	旅費活用率 R 6 年 度 R6年度 100 % % % 千円 千円	時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予 算額	R 7 年 E R7年度	始 終 % % %	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R 8 年 度 R8年度 100 % %

当初	事 項	英語	担当教員海外派送	遣事業	費					予算主	管課	高校教育課	
	事業	英語	担当教員を諸外国	国(英	語圏)に派遣し、	、英語	能力と指導力を	高める	ととも	始	朝	H10	
	概要	に、	文化交流と相互理	里解を	促進する。					終期	朝	R5	
		海外	派遣された英語教	教員の	成果発表が参考	になっ	た参加者割合						
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 月			R 8 年 度	
	K P I	時点・期間・	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R 7年度		時点·期間	R8年度	
				目標値	80 <mark>%</mark>	目標値	80 <mark>%</mark>	目標値	80	%	目標値	80 <mark>%</mark>	
		現状値	— %	実績値	0 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値		%	実績値	%	
				達成率	0.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%	
			スト	最終現計予 算額	1,805 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円	
			~ P	決算額	0 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円	
5 年 度	要因		対象に、英語の授業	力を高め	かるため、1名を海 生や指導力向上を図	るよう	取り組んでいく。			等学校及で	グ中等教育	育学校の英語担当者を	
	日本人中央の翌四(944年 京人 76年 上版日本人(市代の基本))												
当初	事項	高等	学校ICT活用担	受業改	善推進事業費					予算主	 :管課	高校教育課	

12	当初	事 項	高等	学校ICT活	用授	受業改	善推進事	業費						予算主	三管課	高校教育課	
		事 業	大学	 入学共通テス	ト至	をへの:	対応やIC	Tを活用	ヨした	受業改善を	·行う。			始	期	R 3	
		概要	/\ 1	/\	ν I ν.	J. 102,	/J//L· (1C	, r e /u /	13 0 7 2 3	X X W = C	-13 20			終	期	R 5	
			愛媛	県ICT活用	スキ	トル達	成度(平	均3.5以	以上のi	高校教員割	合)						
			KPI種別	上がると良い打	旨標		R 5 年 月			R 6 年 度			R 7 年 /			R 8 年 度	
		KPI	時点・期間	R4年度		時点·期間	R5年度		時点·期間	R6年度		時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
					- 1	目標値	75		目標値	80		目標値			目標値	90 %	
			現状値	60.8 %		実績値		%	実績値		%	実績値		%	実績値	%	
						達成率	102.67	%	達成率		%	達成率		%	達成率	%	
				スト		最終現計予 算額	17,207		最終現計予 算額		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円	
						決算額	16,715	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額	千円	
	5 年	要因分		総括(事業最終 教員のICT活 る。	新ス	スキルに	は、着実に「	句上した						ム等の効気	果的な活月	月を重点的に推進す	
	度	見直した	5向性		見山	<u></u>		維持・ 月	<u></u>	(善・大幅見	<u></u>	事業組育					